平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ４６ ※記入不要	提案機関名	湘南地域農業改良普及センター

要望問題　スイートピーの新花色品種の作出について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

農総研からはすでに「アルテミス（黄色）」「オリオン（青紫）」「リップルシリーズ」が作出されているが、生産者からは農総研に対する新たな花色品種等、商品性を持った品種要望が高い。また交配母株の保存園としての利用も望まれている。
今後、オレンジ色や緑色等、まだ市場にない品種の作出を続けてほしい。

対象地域：藤沢・茅ヶ崎・寒川
生産面積：2.8ha　約 40 戸

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所

部　　署：生物資源部

対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）
かながわの特産品の開発・花き類の新品種育成

対応の内容等
「リップルシリーズ」の利用範囲をさらに広げるため、異なる吹きかけ模様色をもつ系統について、切り花品質の向上を目指して選抜を進めており、今後も現地試験を含め継続して試験を行っていきます。
さらに、新規性を有する花形で特徴的な芳香を特徴有する系統について固定が進んでおり、品種化に向けて特性調査を行う予定です。
これまでの冬咲き性品種にはない新たな花色をもつ品種育成のため、海外の夏咲き性品種及び国内の冬咲き性・春咲き性品種を導入して特性を評価し、有望なものは交配母本として利用するとともに種子の更新を行っています。
また、品種育成とあわせて育種の基礎となる、花形、花色、開花性等形質の遺伝様式を調査し育種の効率化を図るとともに、生産者に積極的に情報を提供していきます。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	